

栄本 忠嗣 議員



防災・減災対策の実行を

問 近年、増加する集中豪雨に伴う土砂災害対策として、毎回被害が生じる箇所においては、しっかりと調査し、原因究明に努めていただきたい。

答 原因が特定できた場合には、それに合わせた防災・減災対策を実行することが必要であると考えますが、今後の取り組みについて見解を伺います。

防災対策に一層努める

答 現状では、なるべく広い範囲で、被災施設の原型復旧にとどまることなく、一つ一つの被災原因を解明し、それらを取り除くよう災害復旧に努めています。

また、山林の荒廃に対する対策も始め、今後も各地域の皆様のご協力をいただき、危険個所の把握や防災対策に一層努めます。

独居高齢者見守り対策の充実を

問 現在、本町では独り暮らしの高齢者の見守り対策として、すでに緊急通報サポートシステム設置費用を助成しています。さらに、様々なケースに対応できるよう、見守りカメラ、GPS端末や専用のタグの貼り付けなど選択肢を増やすべきと考えますが、執行部の見解を伺います。

非常に重要である

答 本町ではSOSネットワークを活用し、QRコードシールによる新たな見守りシステムの施行を検討しています。

ご提言は非常に重要であるのとらえておりますので、独居高齢者見守りシステムの充実を、今後前向きに検討してまいります。



令和2年7月豪雨による
油宇地区の被災箇所復旧作業

山中 正樹 議員



観光客誘致の起爆剤に

問 周防大島町の発展のために、観光客の誘致、集客を図っていくことが責務です。

メロディーロードは、車両が道路を一定速度で走ることで音を奏でます。周防大島特有の音楽を応用することで、観光資源として活用し、メロディーロードの設置を観光の起爆剤として提案します。

音の影響・住民の理解が必要

答 町内でメロディーロードを設置する場合、条件を満たす場所を探すことが必要です。

安全運転につながり、星野哲郎先生の代表曲で、多くの観光客を迎える起爆剤として効果は期待できるものの、昼夜を問わず、車両の走行のたびに音が出るなど、今後の研究が必要だと思われれます。

高齢者スマホ無料教室の開催を

問 デジタル関連法案が国会で成立しました。忘れてはならないのがデジタル機器に不慣れた高齢者でも、その恩恵が受けられるようにすることではないでしょうか。

その取り組みとして、通信事業者とコラボし、スマートフォンへの貸し出しと無料教室開催について伺います。

今後実施できるよ...

答 65歳以上のネット利用者の割合は利用頻度が低く、デジタル機器に不慣れた高齢者への配慮が必要です。

スマートフォン無料講習会等の実施は、シニアクラブ補助金の教養講座でパソコン講習会を行っており、今後、スマートフォンの講習会を実施していくよう協議をしてまいります。



優しいスマートフォン
無料講習会